

各関係機関長 様
各関係者 様

佐賀県農業技術防除センター所長

野菜類・花き類におけるオオタバコガの 防除の徹底について

オオタバコガのフェロモントラップでの誘殺数が増加しています。
については、下記の事項を参考に防除対策を徹底してください。



1. 発生状況等

- 1) 施設栽培トマト圃場に隣接して設置したフェロモントラップでの雄成虫の誘殺数は、8月下旬以降、
平年より多く推移し、9月下旬および10月上旬に急増している（図1）。
- 2) 福岡管区气象台が10月6日に発表した九州北部地方の1か月予報では、向こう1ヶ月の気温は平年並
と予想されており、今後も発生が継続する可能性が高い。

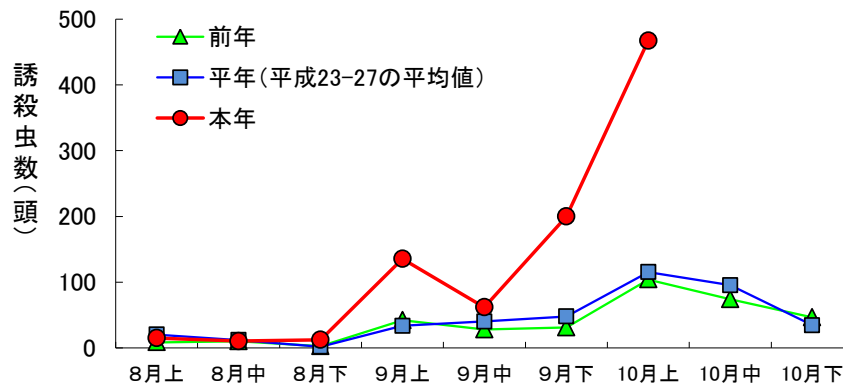


図1 フェロモントラップによるオオタバコガの半旬別誘殺数
(病害虫防除員による川副町2地点での平均誘殺数)

2. 防除対策

【野菜類、花き類全般】

- 1) 発生量は、圃場毎に大きく異なるため、必ず各圃場での発生状況を確認する。
- 2) 幼虫は、齢が進むと果実、新芽及び花蕾の中に食入し、薬剤がかかりにくいいため、若齢幼虫期に防除
を行う。
- 3) 食入された部位は除去し、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- 4) 施設栽培においては、圃場内に成虫が侵入するのを防ぐため、施設開口部に防虫ネット(4mm目以下)
を被覆する。
- 5) 薬剤防除に当たっては、使用方法(収穫前日数等)を遵守する(表1参照)。
- 6) ハスモンヨトウの発生も依然として多いことから、両種の同時防除を行う。

表1 オオタバコガの主な防除薬剤

※佐賀県施肥・病害虫防除のてびきに掲載している薬剤を記載

イチゴ

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
6	アベルメクチン系	アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内
11	BTと殺虫バクテリア質生産物	エスマルクDF	B T	1000倍	100～300L/10a	発生初期但し、 収穫前日まで	—

トマト

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
6	アベルメクチン系	アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	5回以内
15	ベンゾイル尿素系	アタブロン乳剤	クロルフルアズロン	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内
		マッチ乳剤	ルフェヌロン	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	4回以内
18	ジアシルヒドラージン系	マトリックフロアブル	クロマフェノジド	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内

ミニトマト

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
6	アベルメクチン系	アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	5回以内
15	ベンゾイル尿素系	アタブロン乳剤	クロルフルアズロン	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内
		マッチ乳剤	ルフェヌロン	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内
18	ジアシルヒドラージン系	マトリックフロアブル	クロマフェノジド	1000～2000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内

ナス

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
11	BTと殺虫バクテリア質生産物	デルフィン顆粒水和剤	B T	1000倍	100～300L/10a	発生初期但し、 収穫前日まで	—
13	ピロール系	コテツフロアブル	クロルフェナピル	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	4回以内
22A	オキサジアジン系	トルネードエースDF	インドキサカルブ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内
		トルネードフロアブル	インドキサカルブMP	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内

アブラナ科葉菜類

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
11	BTと殺虫バクテリア質生産物	チューンアップ顆粒水和剤	B T	2000～3000倍	100～300L/10a	発生初期但し、 収穫前日まで	—

レタス

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数
5	スピノシン系	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド	2500～5000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	3回以内
28	ジアミド系	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内
		ベリマークSC	シアントラニリプロール	400倍	セル成型育苗トレイ1箱 または「ハ」ネット1 冊（約30×60cm、 使用土壌約1.5～ 4L）当たり0.5L	育苗期後半～定 植当日	1回

アスパラガス

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	10a当たり 使用液量	使用時期	本剤の使用回数
3A	ピレスロイド系	アードント水和剤	アクリナトリン	1000倍	150～500L/10a	収穫前日まで	2回以内
6	アベルメクチン系	アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内

ピーマン

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	10a当たり 使用液量	使用時期	本剤の使用回数
5	スピノシン系	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド	2500～5000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内

キク

IRACコード	系統	薬剤名	成分名	希釈倍率	10a当たり 使用液量	使用時期	本剤の使用回数
5	スピノシン系	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド	2500～5000倍	100～300L	発生初期	2回以内

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 5297 FAX (0952) 45 - 5085